

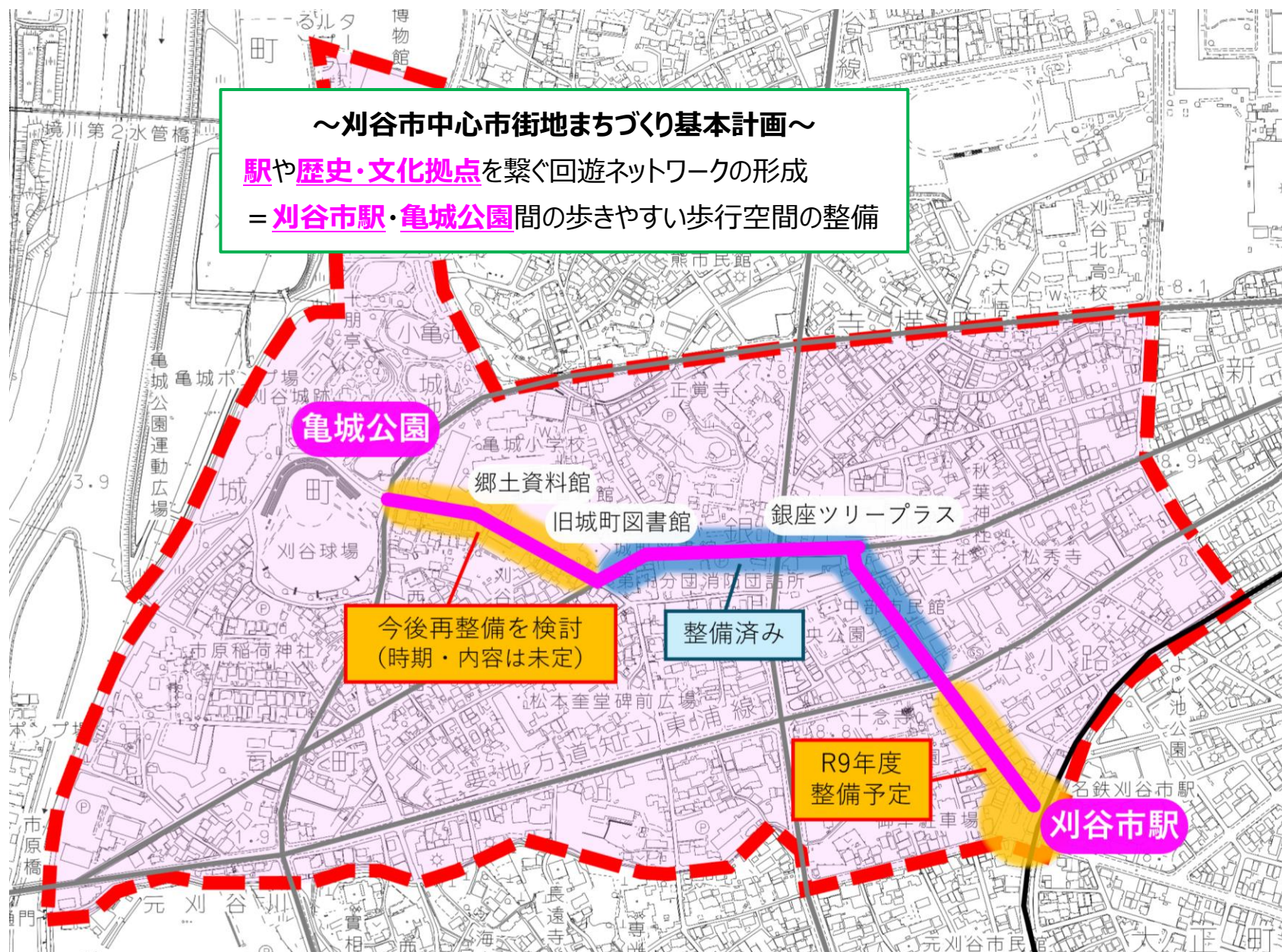


第5回城・まち刈谷デザイン会議

(刈谷市駅周辺まちづくり懇談会)

令和7年9月17日（水）
19時～20時30分

於 刈谷中部市民館



何故歩きやすい歩行空間を作るのか？

～ 世界中で推奨されている“ウォーカブル” なまちづくり ～

“ウォーカブル” なまちづくりを進めると…

1 魅力ある都市空間の創出

- 美しい景観や公共空間が整ったまちは、観光や居住の面でも魅力的な場所になります。
- 例えば、広場やベンチ、カフェのテラスなどが人の集まる空間をつくり、都市の魅力を高めます。

2 地域経済の活性化

- ウォーカブルなまちは人通りが増え、商店街やローカルビジネスにとって有利な場所となります。
- 滞在時間が長くなることで、消費活動が活性化します。

3 災害対応とレジリエンス

- 徒歩圏に必要な機能が揃っていると、災害時にも移動や避難がしやすく、助け合いもしやすい。
- 分散型のコンパクトな都市構造は、災害にも強いまちづくりにつながります。

4 高齢化社会への対応

- 高齢化の進行により、高齢者が安全かつ快適に移動できるまちが必要になっています。
- 車に依存せず、徒歩で生活圏内を移動できる都市設計が求められています。

5 健康促進

- ウォーカブルな環境は歩行や自転車移動を促し、生活習慣病の予防にもつながります。
- 日常的な運動機会を自然に増やすことで、医療費の削減にもつながる可能性があります。

6 環境負荷の低減・脱炭素

- 自動車依存を減らし、CO₂排出量を削減するため。
- 歩行や公共交通機関を使いやすくすることで、持続可能な都市を実現。

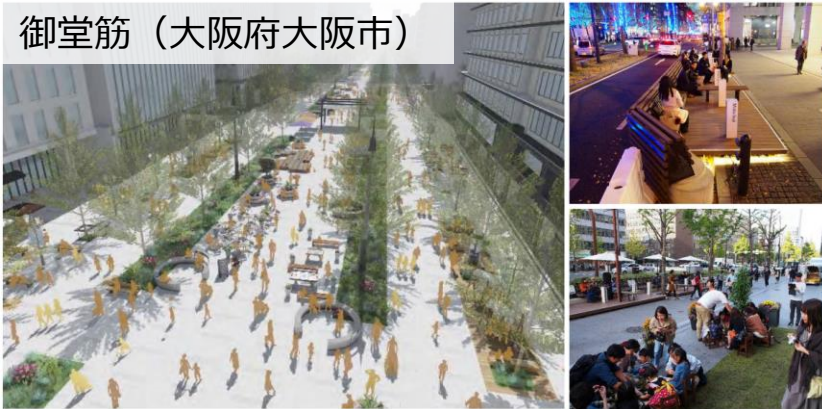
刈谷市駅周辺の“ウォーカブル”なまちづくりとは？

■ 全国的事例

大分いこいの道（大分県大分市）



御堂筋（大阪府大阪市）



刈谷市駅周辺にはこんな広い道は存在しない

目指すべきはここではない

■ 刈谷市駅周辺が目指すべきまちづくりの方向性

中町線（県道245号線）



シャッター街となっており
活気がない

旧城町図書館～亀城公園



小学校のそばの道なのに
歩車分離されていない
・
亀城公園まで少し散歩
しようという気になれない

歩きやすく、歩きたくなる道を整備する

人がまちに出る

新しい店が増える

活気にあふれたまち

地域経済活性化

歩行者にとって
安全な道

交通安全

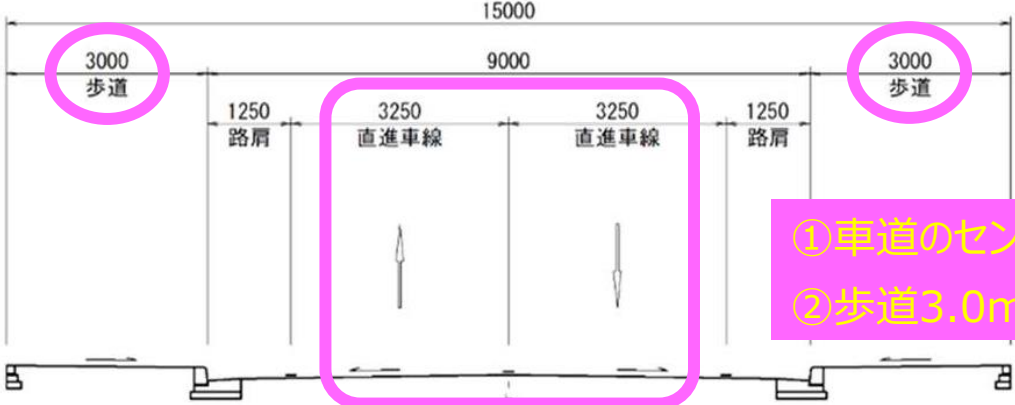
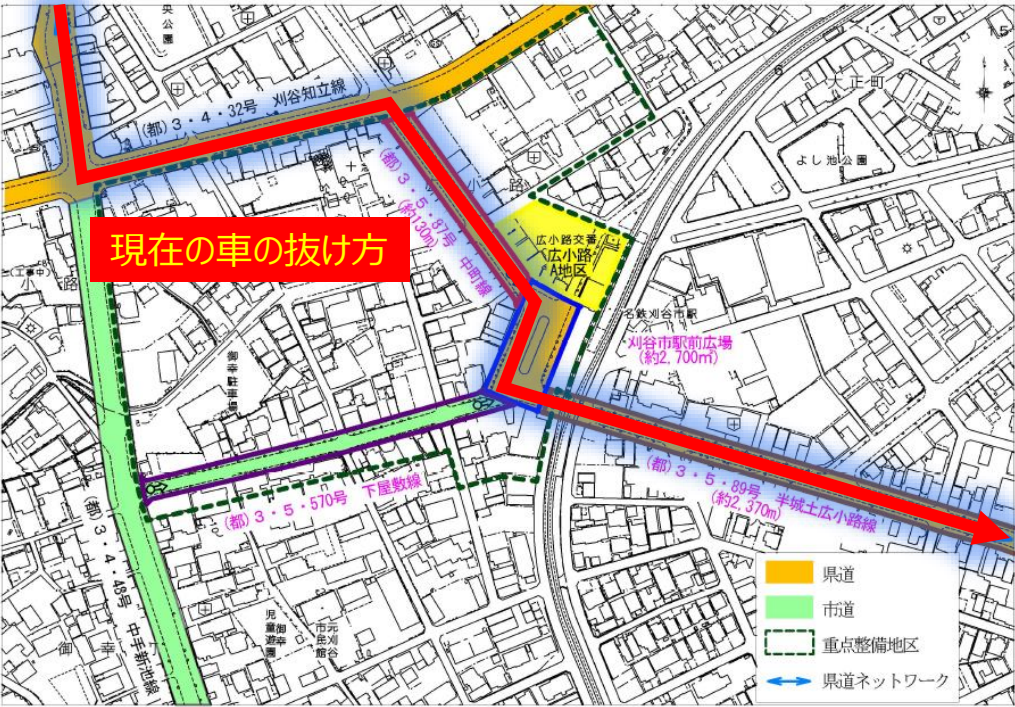
高齢化社会対応

日常的な
運動機会
の増加

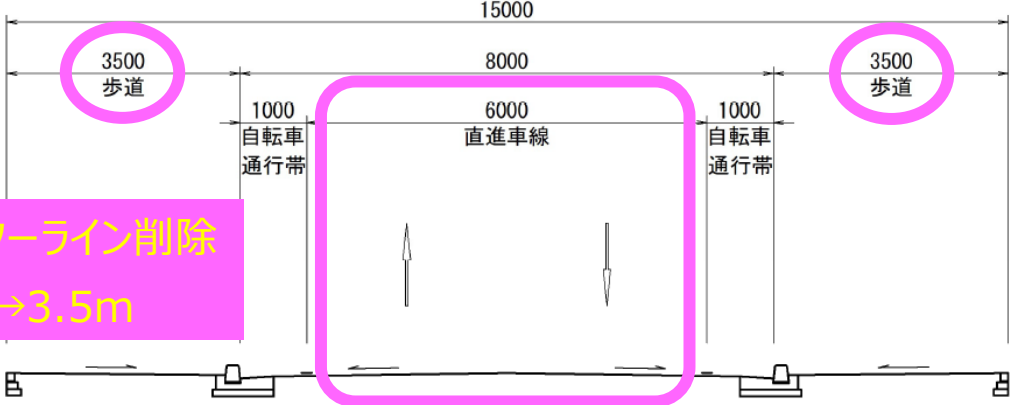
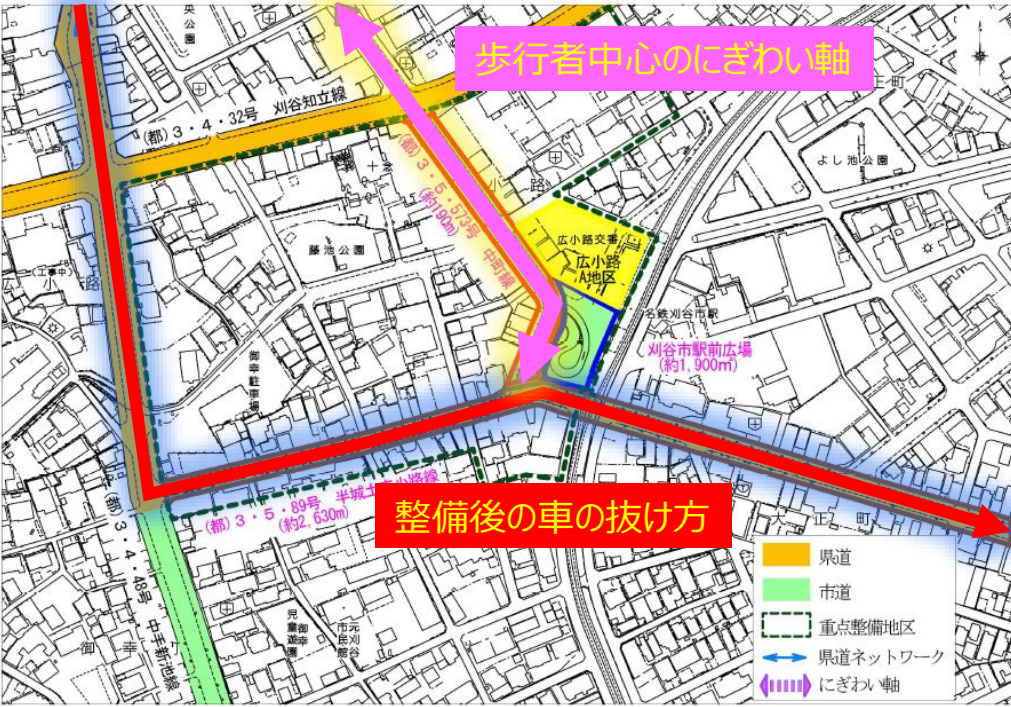
健康促進

中町線の整備について

■現在



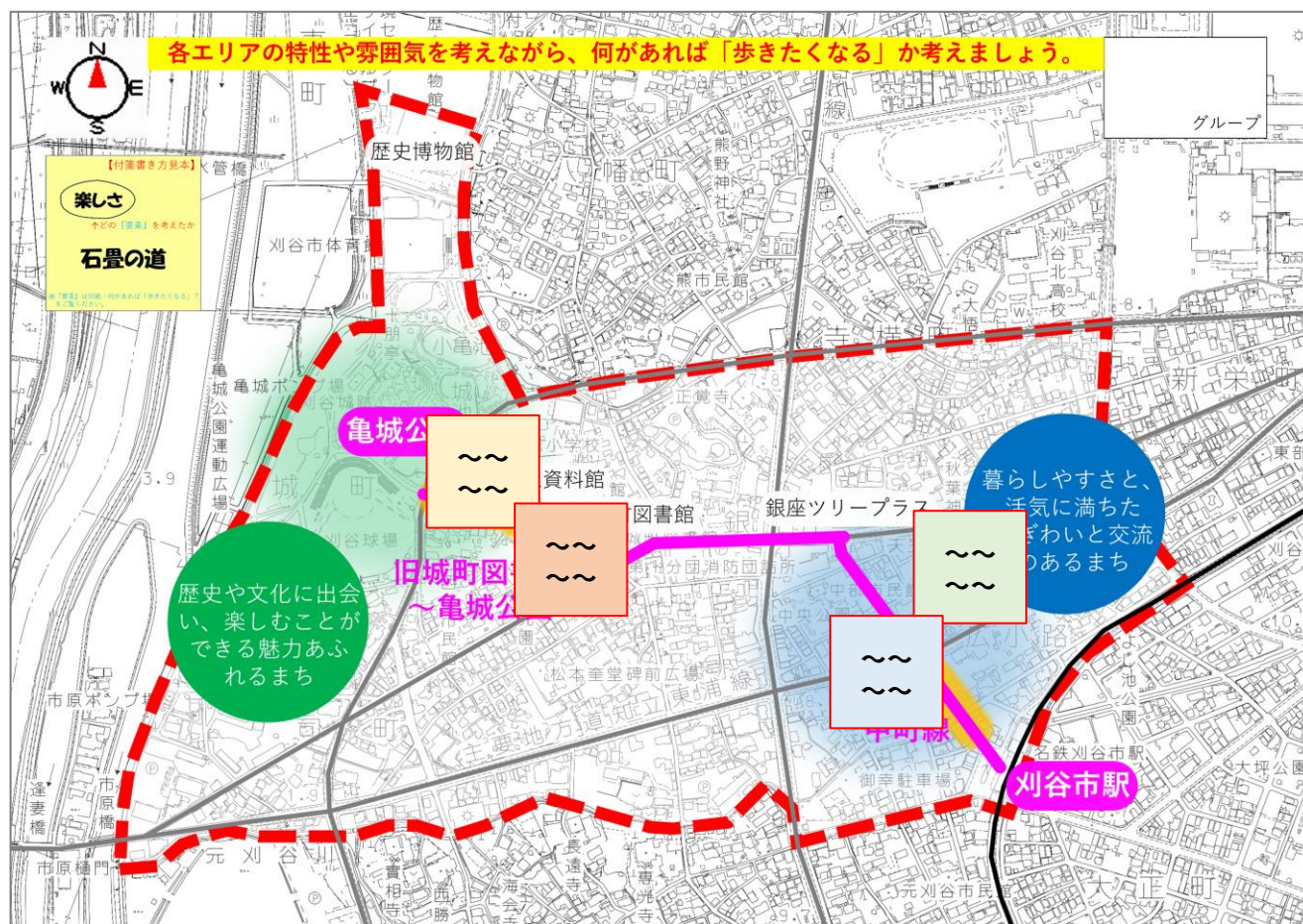
■整備後



- ①車道のセンターライン削除
- ②歩道3.0m→3.5m

【ワークショップの進め方】

- ① 一人一枚配布されている『何があれば「歩きたくなる」?』を参考にしつつ、机上の図面にあつたら良いものを付箋で貼ってください。検討する道は2本あるので、付箋はそれぞれの道の周りに貼るようにしてください。
- ② 最後に、各グループ発表を行います。



① エリアに住む人や活動している人の意向は最大限に尊重する

まちづくり実践者の理想のまちと、エリアに住む人や仕事をしている人の理想のまちは異なっているかもしれません。私たちのやりたいことを前面に出すのではなく、エリアに住む人等の意向を最大限尊重していきましょう。

② 議論する内容は“誰かにやってもらうこと”ではなく“自分たちでやっていくこと”

城まち会議で議論することは実際にこれからやっていくことです。まちづくりを“他人事”ではなく“自分事”として捉え、みんなで実現に向けて動いていきましょう。

③ まちづくりは一日にして成らず・小さく始めて大きく育てる

まちはすぐに変わりません。
5年後、10年後…の長期的な展望を持って活動をしていきましょう。

④ 議論する内容はソフト・ハードは問わない

議論する内容自体に制限をかけることはありません。ただ、ハード面の内容は金銭的に難しいことも多いです。城まち会議内でできないことは、取りまとめて市役所の担当部署へ共有させていただきます。

➤ ソフト：みんなで実施していきましょう！

➤ ハード：できることはやっていきましょう！大規模なものは取りまとめて担当部署へ共有いたします。



@SHIRO_MACHI_KAIGI

会議の案内などを投稿していきます。

皆様フォローをお願いします😊